

令和3年度第1回宇治市国民健康保険運営協議会議事録（要旨）

令和3年11月18日（木） 14:00～15:30

生涯学習センター 1階 第2ホール

（出席） 小山会長、久保副会長、浅江委員、関戸委員、辻川委員、安井委員、山本委員
井上委員、大町委員、西垣委員、丸山委員、宮本委員、西村委員
藤田部長、波戸瀬副部長、北岡課長、大久保副課長、小野係長、北係長、中川
係長、大石主任

（欠席） 鈴木委員、嶋村委員、牧野委員、小川委員、北村委員、山田委員

（傍聴者） 0名

1. 開会

波戸瀬副部長）ただ今より、「令和3年度第1回宇治市国民健康保険運営協議会」を開催させていただきます。なお、本日の会議は「宇治市国民健康保険運営協議会の会議に関する要項」に基づいて公開としています。

- ・事務局より会議の成立確認報告及び配付資料の確認
- ・事務局より新任委員の紹介
- ・部長挨拶及び令和3年度事務局の紹介

2. 会長挨拶

波戸瀬副部長）これより、議事の進行につきましては、小山会長に引き継がせていただきたく存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

- ・小山会長より挨拶

3. 議事

（1）会議録署名人の選出について

会 長）それでは、本日の次第に沿いまして進めさせていただきます。会議録署名人の選出について、事務局からご説明をお願いします。

- ・事務局より会議録署名人の選出について説明

会 長) ありがとうございます。委員の皆様より、ご異議等はありませんでしょうか。特にありませんでしたら、本日の会議録の署名人につきましては、被保険者代表の関戸安夫委員、公益代表の宮本隆司委員にお願いをさせていただきたいと思っております。

(2) 宇治市国民健康保険事業について

・事務局より、資料2「宇治市国民健康保険事業について」に基づき説明

委 員) ご説明いただいた1人当たりの医療費は宇治市の状況でしょうか。それとも全国平均でしょうか。

事務局) 資料2の2ページに掲載しているのは宇治市の状況でございます。

委 員) 保険料率は各自治体によって異なるということでしょうか。

事務局) 平成30年度の国保事業運営広域化に伴い、都道府県より標準保険料率が提示されています。京都府が府全体の1年間の保険給付費を算出し、それを基に被保険者の年齢層や所得など各自治体の状況を考慮した納付金を算定され収めることとなります。標準保険料率とは、納付金の財源となる保険料収入を見込む保険料率であり、自治体ごとに標準保険料率は異なります。今後、各都道府県内で保険料率を統一することも想定しているものです。

(3) 令和2年度国民健康保険事業特別会計決算について

・事務局より、資料3「令和2年度国民健康保険事業特別会計決算について」に基づき説明

委 員) 令和3年度被保険者数は何人ぐらい見込まれているのでしょうか。

事務局) 具体的な数値は持ち合わせておりませんが、減少傾向であることに加え、令和4年度以降は団塊の世代の方々が後期高齢に移行されるため大きく下がると見込んでいます。

委 員) 資料3の7ページ国の概算医療費の状況の表中、平成28年度の医療費(調剤)が減少している要因はどのようなもののでしょうか。

事務局) 現在、詳しい資料を持ち合わせておりません。

会 長) 令和2年度の医療費減少は、コロナ禍の受診控えによる影響が大きいと聞いていますが、受診控えについて年齢層や診療科目など分析されていますでしょうか。

事務局) 歯科、耳鼻科と小児科が大きく落ちていると認識しています。

委 員) 若者世代に多いということでしょうか。

事務局) 新聞報道では、若者世代及び高齢世代で受診控えが目立っていると報道されています。

会 長) 今後コロナの動向がどのようになってゆくのか。医療機関の専門の委員がおられるので第6波、3回目コロナワクチン接種、インフルエンザワクチン接種についてご意見いただけますでしょうか。

委 員) 医療機関及び政府では、第6波は来ると懸念されているため、第3回目ワクチン接種を進めようとしています。もう一つの懸念事項としては、小児へのワクチン接種について保護者の判断に委ねることになるため、判断に必要な情報を十分受けることができるようにしなければならないと思います。アメリカでは先行して実施しており、これまで重大な副反応は出ていません。個人の意見としては、小児世代も接種すべきだと思います。

委 員) コロナ感染を抑制できている現状は、やはりワクチン接種の効果だと考えています。3回目接種をどのように進めるか今後非常に重要になると思います。

委 員) 去年インフルエンザが流行しなかったのが今年は流行すると言われていています。令和2年度の医療費が減少した要因の一つとして、インフルエンザが流行しなかったことも挙げられるのではないかと考えます。

委 員) 8か月後に3回目コロナワクチン接種を進めるとのことですが、インフルエンザワクチンのように定期的に接種し続けるようなものなのでしょうか。

委 員) ワクチンの製造方法も日々変わっていることや、今後優れた薬ができるかもしれませんが、現状ではインフルエンザワクチン接種と同じような予防対応になるのではないかと思います。

会 長) 専門分野の貴重な意見をありがとうございます。被保険者代表の方々、受診行動について変化はありましたでしょうか。また、その他ご意見ございますでしょうか。

委 員) 定期的に医療機関へ受診していますが、待ち人数や待ち時間で図るとコロナ禍では受診控えを感じました。今は少しずつ受診者数が増えてきていると感じています。

委 員) 健康維持のため軽い運動など普段の生活習慣の見直しの重要性をコロナ禍での生活で実感しました。

委 員) 現在の状況では、コロナワクチンを定期的に接種しなければならない見通しという見解をいただいたところです。今後、コロナワクチン接種についても、高齢者のインフルエンザワクチン接種のような市の助成をお願いしたいです。

もう一つは私事ではありますが、医療費の自己負担割合(3・2・1割)について教えていただきたいです。所得は世帯単位で計算され、自己負担割合に影響するのでしょうか。

事務局) 医療費の自己負担については、世帯の収入を基に判定いたします。現状の制度では、70歳を基準に前年の世帯収入によって2割負担又は3割負担へ分かれます。

委 員) 緊急でない限り受診控えをしています。

委 員) これまでほとんど医療機関を受診していません。国民健康保険の制度は理解していますが、このような者に対して保険料の減額などの制度があればと思います。

会 長) コロナ禍では同年代の来院数は減っており、10月からは戻っていると感じています。新任委員の方にもご意見を伺いたいと思います。

委 員) 警察共済組合でも被保険者の医療費は減少しています。これは徹底した予防対策によるものではないかと考えています。今後新型コロナウイルスの流行が収束し、良い生活習慣だけが残り、医療費がこのまま低ければいいと思います。

委 員) 受診控えの反動、例えば持病の重症化や医療費の急増などを懸念しています。そのような傾向を医療現場では感じておられるのでしょうか。

委員) コロナ患者によって病床数が不足し、入院手術を予定されていた方々が延期せざるを得ない状況はあったと思います。政府は国民の生活の安定を念頭に、経済の循環とコロナ感染予防のバランスを考えているのではないかと思います。

委員) 就学時健診で歯科医と話す機会があり、例年に比べ虫歯が多い状況のようでありました。これはコロナ禍での生活習慣の変化により、自宅での間食が増えたり、学校で歯磨きを実施しなかったり、そのようなことが要因となっているのではないかと思います。

委員) 薬剤師会では、従来より学校でCO₂濃度を計測し換気の重要性を伝えてきました。インフルエンザや新型コロナウイルスの流行により、永年啓発し続けてきた換気の徹底がようやく浸透したように思います。

会長) その他、ご意見ご質問ございませんでしょうか。

本日の会議資料を各自ご自宅でお読みいただき、次回以降の議論のベースにさせていただけたらと思います。

それでは、次第の4「その他」につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

4. その他

- ・事務局より、「令和3年度宇治市国民健康保険運営協議会開催日時（予定）」に基づき説明

5. 閉会

会議録署名人
